

**平成29年度スポーツ庁委託事業
オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
事業報告書**

国立大学法人筑波大学
オリンピック教育プラットフォーム
Centre for Olympic Research and Education



はじめに

韓国での平昌冬季オリンピック・パラリンピックが閉会し、次はいよいよ2020年の東京大会を迎えます。日本では、東日本大震災からの復興や、平和・友好に満ちたグローバルな共生社会の構築、そして障害者の住みやすいバリアフリーの健康長寿社会の実現が求められている中で、2020年の東京大会は重要な機会となります。

筑波大学では、2010年に設立したオリンピック教育プラットフォーム（Centre for Olympic Research and Education）を中心に、継続的に研究・教育活動を進めています。今年度は、本事業を通して、スポーツ庁を中心とした「オリンピック・パラリンピック教育全国中核拠点会議」に参画するとともに、とくに宮城県、福島県、茨城県、京都府、京都市、福岡県、北九州市の7地域と連携し、学校や地域におけるオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの普及・展開を行いました。教員研修会から推進校における実践、報告会や全国フォーラムなどを含む一連の事業の中で、各地域の特色あふれる取り組みが生まれ、東京都に限らない全国での機運の高まりを実感しています。

結びに、今年度の事業にご協力をいただいた各地域拠点の教育庁の方々、また推進校の先生方をはじめとする全ての関係の皆様、心より御礼申し上げます。今後も2020年に向けて、そして大会を契機とした教育レガシーの構築に向けて、ご協力をいただければ幸いです。

平成30年3月

筑波大学体育系・教授（オリンピック教育プラットフォーム事務局長）
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会・参与
真田 久



目次

1. 本事業の概要	
(1) 本事業の目的	1
(2) 推進体制	2
(3) 実施スケジュール	4
2. セミナー（事前研修会）	
(1) 全国セミナー	5
(2) 地域セミナー	7
①宮城県	
②福島県	
③茨城県	
④京都府	
⑤京都市	
⑥福岡県	
⑦北九州市	
3. 各地域拠点の推進校における実践	
(1) 推進校一覧	15
4. ワークショップ（事後研修会）	
(1) 地域ワークショップ	19
①宮城県	
②福島県	
③茨城県	
④京都府	
⑤京都市	
⑥福岡県	
⑦北九州市	
(2) 全国ワークショップ	27
5. 全国フォーラム	
(1) 開催概要	29

1. 本事業の概要

(1) 本事業の目的

2020年東京大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（平成27年11月27日閣議決定）において、政府は「大会開催を契機に、オリンピック・パラリンピック教育の推進によるスポーツの価値や効果の再認識を通じ、国際的な視野を持って世界の平和に向けて貢献できる人材を育成する」ことを決定している。本事業は、この方針の実現に向けて、スポーツ庁の委託を受けた全国中核拠点（筑波大学、日本体育大学、早稲田大学）と地域拠点（20地域）が連携し、学校や地域一般におけるオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを推進することを目的とするものである。

今年度、筑波大学は全国中核拠点（Aタイプ）として、主に以下の事業を実施した。

①オリンピック・パラリンピック教育全国中核拠点会議への参画

スポーツ庁および関係団体（内閣官房オリパラ事務局、東京2020組織委員会、東京都教育庁、日本オリンピック委員会、日本パラリンピック委員会、日本財団パラリンピックサポートセンター、筑波大学、早稲田大学、日本体育大学）からなる「オリンピック・パラリンピック教育全国中核拠点会議」に出席し、2020年東京大会に向けたオリンピック・パラリンピック教育の推進方法について情報共有と検討を行った。

（日時）

第1回：平成29年 4月14日（金）16：00～18：00

第2回：平成29年 6月22日（木）15：00～17：00

第3回：平成29年10月16日（月）14：00～16：00

第4回：平成29年12月22日（金）14：00～16：00

第5回：平成30年 3月29日（木）10：00～12：00

（場所）

文部科学省16F3F会議室（東京都千代田区霞が関3-2-2、各回共通）

次に、同会議で決定された本事業におけるオリンピック・パラリンピック教育における「5つのテーマ」を整理する。

【本事業における「オリンピック・パラリンピック教育」の内容について】

オリンピックの教育的価値（努力から得られる喜び、フェアプレー、他者への敬意、卓越性の追求、身体・意志・知性の調和）、パラリンピックの価値（勇気、強い意志、インスピレーション、公平）の普及に向けて、以下のテーマを設定する。

- ・ スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- ・ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- ・ スポーツを通したインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- ・ 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- ・ スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

②各地域拠点の推進校におけるオリンピック・パラリンピック教育の支援

全国中核拠点の主要な役割の一つは、地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の総合的支援である。まずは、各地域拠点のコーディネーター（担当指導主事等）を対象とした「全国セミナー」（事業説明会）を開催し、その後に各地域で行われる「地域セミナー」（事前研修会）に参加、とくに情報提供の面で支援を行った。そして、各推進校における教育実践をサポートし、実践報告会としての「地域ワークショップ」に参加した。年度末には、全ての全国中核拠点と地域拠点が一堂に会して成果と課題を共有する「全国ワークショップ」（全体報告会）を開催した。これらの内容は、第2章以降に詳述する。

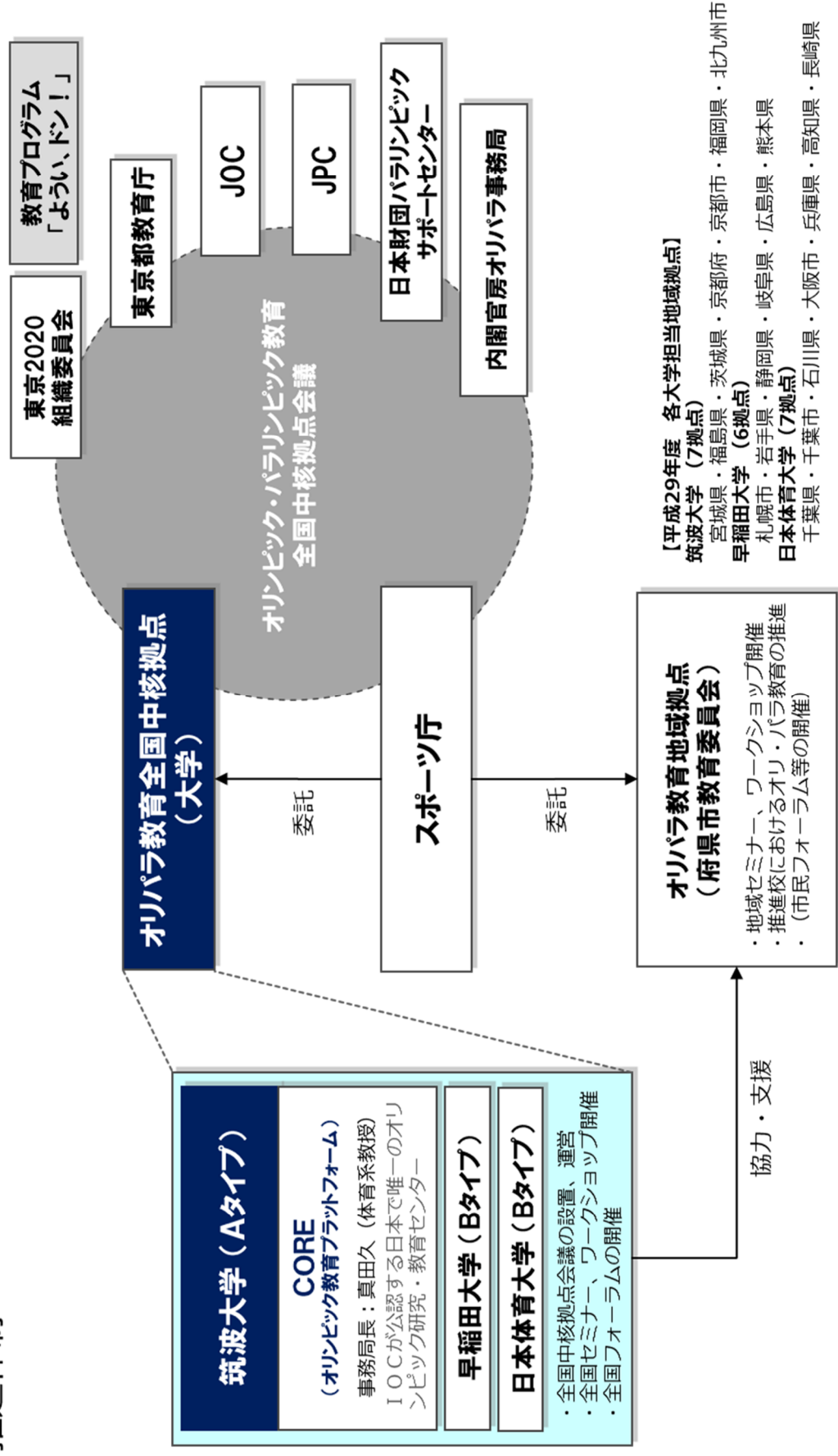
③地域におけるオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの機運醸成

2020年東京大会に向けた全国での機運醸成に向けて、筑波大学では宮城県を会場に「全国フォーラム」を開催した。石巻市の推進校によるオリンピック・パラリンピック教育の実践報告や、地元ゆかりのアスリートによる講演会、そして協会の支援によるフェンシングとボッチャの体験会を実施した。第5章に詳述する。

（2）推進体制

次に、今年度の事業推進体制について、次頁に整理する。

平成29年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 推進体制



(3) 実施スケジュール

時期	事業内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学内における推進体制の整備 ・ 各担当地域拠点（7地域）との連携体制の整備（～9月） ・ 第1回全国中核拠点会議への参加
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国セミナー（第1回）の開催 ・ 福岡県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 各推進校等におけるオリンピック・パラリンピック教育の実践支援（～2月）
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2回全国中核拠点会議への参加 ・ 筑波大学附属学校群におけるオリンピック・パラリンピック教育のモデル授業研究・開発（～2月）
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国セミナー（第2回）の開催 ・ 京都府地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 茨城県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 京都市地域セミナーへの参加および実践支援
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福島県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 宮城県地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 国際ピエール・ド・クーベルタンユースフォーラム2018（エストニア）におけるオリンピック・パラリンピック教育のプログラム調査、情報収集
9月	（上記事項の継続）
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北九州市地域セミナーへの参加および実践支援 ・ 第3回全国中核拠点会議への参加
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域拠点の推進校等におけるオリンピック・パラリンピック教育の現場視察（～2月）
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第4回全国中核拠点会議への参加
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国フォーラム（宮城県）の開催 ・ 福島県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 京都市地域ワークショップへの参加、実践支援
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都府地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 宮城県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 福岡県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 北九州市地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 茨城県地域ワークショップへの参加、実践支援 ・ 平昌大会におけるオリンピック・パラリンピック教育プログラム調査
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国ワークショップの開催 ・ 第5回全国中核拠点会議への参加 ・ 事業報告書冊子および事業報告用ウェブページの作成 ・ 委託事業完了報告書の提出

2. セミナー（事前研修会）

（1）全国セミナー

各地域拠点における事業の推進にあたり、そのとりまとめを行う各コーディネーター（主に担当指導主事等）を対象とする研修会を開催し、事業の趣旨、オリンピック・パラリンピック教育の理論的枠組みと教材の活用方法、実践例に関する説明を行った。



全国セミナー

（第1回）

日時：2017年5月8日（月）14：00～17：00

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎119教室

主催：筑波大学、早稲田大学、日本体育大学

プログラム：

14：00 開会挨拶

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課課長 勝又正秀

14：05 全体概要説明

筑波大学体育系教授 真田久

14：35 各学校段階におけるオリンピック・パラリンピック教育・教材紹介

早稲田大学研究助手 岡田悠佑

日本体育大学特別研究員 秋和真澄

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

15:35 関係団体事業について

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会企画財務局企画部
企画課長（兼）アクション&レガシー部文化・教育担当課長 小林美保
東京都教育庁指導部オリンピック・パラリンピック教育推進担当課長
荒川元邦
内閣官房オリパラ室 参事官 羽生雄一郎
日本財団パラリンピックサポートセンター推進戦略部プロジェクトリーダー
山本恵理

16:05 （休憩・移動）

16:15 全国中核拠点（担当大学）と地域拠点の打ち合わせ

筑波大学（宮城県、福島県、茨城県、京都府、京都市、福岡県）
早稲田大学（札幌市、岩手県、岐阜県、静岡県、広島県、熊本県）
日本体育大学（千葉県、千葉市、石川県、兵庫県、高知県、長崎県）

（第2回）

日時：2017年7月6日（木）14:00～17:00

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎120教室

主催：筑波大学、早稲田大学、日本体育大学

プログラム：

14:00 開会挨拶

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課課長 勝又正秀

14:05 全体概要説明

筑波大学体育系教授 真田久

14:25 各地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育の推進に関する情報提供

早稲田大学研究助手 岡田悠佑

日本体育大学特別研究員 秋和真澄

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

15:25 関係団体事業について

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
アクション&レガシー課 文化・教育担当第一チーム 主事 勝本剛之
東京都教育庁指導部オリンピック・パラリンピック教育推進担当課長
荒川元邦
内閣官房オリパラ事務局参事官補佐 金子昌弘
日本財団パラリンピックサポートセンター推進戦略部プロジェクトリーダー
山本恵理

16:10 休憩・移動

16:15 全国中核拠点(担当大学)と地域拠点の打ち合わせ

筑波大学（宮城県、福島県、茨城県、京都府、京都市、福岡県、北九州市）
早稲田大学（札幌市、岩手県、岐阜県、静岡県、広島県、熊本県）
日本体育大学（千葉県、千葉市、石川県、大阪市、兵庫県、高知県、長崎県）

（２）地域セミナー

全国セミナー後、各地域では推進校の選定（指定）が行われ、当該校教員および教育事務所担当者を対象とした研修会が実施された。本学ではコーディネーターの依頼に基づき、主に以下の実践支援を行った。

（本事業の概要説明）

本学の担当教員が登壇し、オリンピック、パラリンピックの歴史と意義について講演を行った。また、全国中核拠点会議で設定された「オリンピック・パラリンピック教育の推進テーマ」について説明し、対応する具体的な実践例を紹介した。

（各教材の使用方法に関する説明）

スポーツ庁発行の指導参考資料、東京都発行の学習読本、国際オリンピック委員会（ＩＯＣ）発行のオリンピック価値教育プログラム、日本財団パラリンピックサポートセンター発行の I'm POSSIBLE の使用方法を紹介した。

（地域および学校の特色を活かした実践アイデアに関する意見交換）

本学の担当教員、研究員等が推進校教員のグループワークに参加し、具体的な実践アイデアに関する意見交換を行った。

次に、各地域拠点における地域セミナーの要項を掲載する。なお、各要項については、地域拠点のコーディネーターより提供されたものをもとに改編を行った。

①宮城県

日時：平成29年8月22日（火） 14：00～16：30

場所：自治会館206会議室

プログラム：

14：00 開会のあいさつ

宮城県教育庁スポーツ健康課学校安全体育班指導主事課長補佐（班長）
松崎和佳子

14：10 オリンピック・パラリンピック教育の理論と実践

筑波大学体育系教授 真田久

14：30 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（平成28年度）

の各地域の実践事例紹介及び教材紹介

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

14：55 日本財団パラリンピックサポートセンター事業紹介

広報部／推進戦略部ディレクター 本山勝寛

15：15 （休憩）

15：25 オリンピック・パラリンピック教育地域拠点

平成29年度宮城県の取組概要説明

平成28年度の宮城県の実践事例紹介

石巻市立貞山小学校

石巻市立渡波中学校

16：00 事務手続き（契約・報告書等）に関する説明

16：20 質疑応答

16：30 閉会行事



宮城県地域セミナー

②福島県

日時：平成29年8月17日（木） 13：30～16：30

場所：福島テルサ 4階つきのわ

プログラム：

13：30 開会

主催者挨拶 福島県教育庁健康教育課長 佐藤晃

13：40 全体概要の説明

筑波大学体育系教授 真田久

14：00 他の地域拠点における取組の紹介

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

14：20 オリンピック・パラリンピック教育に関する教材等の紹介

日本財団パラリンピックサポートセンター推進戦略部プロジェクトリーダー
山本恵理

14：40 福島県事務局からの説明

15：05 休憩・移動

15：20 グループごとの打ち合わせ・情報交換

16：25 閉会



福島県地域セミナー

③茨城県

日時：平成29年7月19日（水） 14：30～16：20

場所：茨城県庁9F講堂

プログラム：

14：30 開会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課課長補佐総括 戸祭勝典

14：40 平成29年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要

筑波大学体育系教授 真田久

15：05 推進教育実践事例の紹介

筑波大学体育系助教 大林太郎

15：25 教育教材「I'm POSSIBLE」について

日本財団パラリンピックサポートセンター推進戦略部プロジェクトリーダー
山本恵理

15：45 本事業事務手続き等に関する説明

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当指導主事 田城真一
管理担当主任 遠藤義久

16：00 質疑応答

16：20 閉会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当係長 金子秀樹



茨城県地域セミナー

④京都府

日時：平成29年7月11日（火） 14：00～16：30

場所：御所西京都平安ホテル1階 平安の間

プログラム：

14：00 開会挨拶

京都府教育庁指導部保健体育課課長 村上昌司

14：10 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明

筑波大学体育系助教 大林太郎

筑波大学客員教授 江上いずみ

14：50 教育教材「I'm POSSIBLE」について

日本財団パラリンピックサポートセンター

「I'm POSSIBLE」日本版開発リーダー マセソン美季

15：10 （休憩）

15：20 京都府における実践事例紹介及び事業実施上の留意点等について

京都府教育庁指導部保健体育課指導主事 塩川拓司

16：10 質疑応答

16：20 閉会挨拶

京都府教育庁指導部保健体育課総括指導主事 柏木佳久



京都府地域セミナー

⑤京都市

日時：平成29年7月21日（金）16:00～17:00

場所：京都市総合教育センター 第5研修室

プログラム：

16:00 開会挨拶

京都市教育員会体育健康教育室体育課長 近藤哲夫

16:05 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明及び全国事例の紹介

筑波大学体育系助教 大林太郎

16:40 事業事務実施上の留意点について

京都市教育員会体育健康教育室主任指導主事 奥山誠

16:50 事務手続き等について



京都市地域セミナー

⑥福岡県

日時：平成29年5月29日（月） 15：00～16：40

場所：カンファレンス ASC（アスク） 5A会議室

プログラム：

15：00 開会行事

15：10 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

15：30 福岡県におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事 物部倫明

15：55 （休憩）

16：10 本事業に係る事務手続き等に関する説明

16：25 質疑・応答

16：35 諸連絡

16：40 閉会行事



福岡県地域セミナー

⑦北九州市

日時：平成29年10月11日（水）14：30～17：00

場所：小倉北区役所庁舎503、504会議室

プログラム：

14：30 開会あいさつ

北九州市教育委員会学力・体力向上推進室学力・体力向上企画担当課長
澤村宏志

14：35 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の概要

筑波大学体育系助教 大林太郎

筑波大学体育系客員教授 江上いずみ

15：00 他の地域拠点におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

15：25 日本財団パラリンピックサポートセンター事業教材（I'm POSSIBLE）紹介

公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンター

推進戦略部プロジェクトリーダー 山本恵理

15：50 本市におけるスポーツ事業等の紹介

北九州市市民文化スポーツ局スポーツ振興担当係長 桑本清

16：00 本事業に係る事務手続き等に関する説明

北九州市教育委員会学力・体力向上推進室学力・体力向上企画担当係長
合六薫

北九州市教育委員会学力・体力向上推進室指導主事 高宮滋

16：15 質疑・応答・諸連絡

16：20 グループ毎の打合わせ（推進校と筑波大学スタッフ）

A（鷹の巣幼、小森江東小、松ヶ江北小、西小倉小、南丘小、広徳小、徳力小）

B（長尾小、二島小、花尾小、青山小、上津役小、木屋瀬小、星ヶ丘小）

C（足立中、菊陵中、曽根中、石峯中、香月中、八児中）

17：00 閉会



北九州市地域セミナー

3. 各地域拠点の推進校における実践

(1) 推進校一覧

今年度は7地域において、計187校の推進校が5つのテーマ（→P. 2参照）に沿ったオリンピック・パラリンピック教育の実践が展開された。各校の実践の詳細は、筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）の事業報告ウェブサイト参照されたい（<http://core.taiiku.tsukuba.ac.jp/projecttop>）。

宮城県（計26校）

小学校（9）	白石市立大平小学校、川崎町立川崎小学校、富谷市立あけの平小学校、山元町立山下小学校、栗原市立宮野小学校、石巻市立貞山小学校、登米市立佐沼小学校、南三陸町立志津川小学校、仙台市立旭丘小学校
中学校（11）	白石市立東中学校、蔵王町立遠刈田中学校、川崎町立川崎中学校、富谷市立富谷第二中学校、山元町立山下中学校、大崎市立松山中学校、栗原市立栗駒中学校、石巻市立渡波中学校、登米市立中田中学校、南三陸町立志津川中学校、仙台市立田子中学校
高等学校（4）	宮城県立泉高等学校、宮城県立松島高等学校、宮城県立利府高等学校、宮城県立柴田高等学校
特別支援学校（2）	宮城県立視覚支援学校、宮城県立聴覚支援学校

福島県（計10校）

小学校（6）	福島市立御山小学校、福島市立平野小学校、福島市立北沢又小学校、福島市立吉井田小学校、福島市立土湯小学校、福島市立佐原小学校
中学校（3）	福島市立福島第三中学校、福島市立蓬萊中学校、福島市立大島中学校
特別支援学校（1）	福島市立福島養護学校

茨城県（計４８校）

小学校（２１）	<p>水戸市立河和田小学校、水戸市立内原小学校、城里町立七会小学校、 常陸太田市立太田小学校、北茨城市立精華小学校、潮来市立潮来小学校、 鉾田市立旭東小学校、土浦市立菅谷小学校、石岡市立林小学校、 龍ケ崎市立龍ケ崎西小学校、取手市立戸頭小学校、つくば市立田井小学校、 つくば市立二の宮小学校、稲敷市立あずま北小学校、 つくばみらい市立十和小学校 河内町立みずほ小学校、古河市立下大野小学校、筑西市立新治小学校、 筑西市立河間小学校、桜川市立坂戸小学校、常総市立玉小学校</p>
中学校（２２）	<p>水戸市立緑岡中学校、笠間市立笠間中学校、小美玉市立玉里中学校、 茨城町立青葉中学校、大洗町立第一中学校、大洗町立南中学校、 東海村立東海南中学校、大子町立大子中学校、北茨城市立関本中学校、 行方市立麻生中学校、行方市立玉造中学校、土浦市立土浦第三中学校、 つくば市立吾妻中学校、つくば市立荃崎中学校、 つくばみらい市立伊奈中学校、古河市立総和南中学校、 筑西市立下館西中学校、筑西市立下館北中学校、坂東市立岩井中学校、 桜川市立桜川中学校、八千代町立東中学校、五霞町立五霞中学校</p>
高等学校（４）	<p>茨城県立水戸桜ノ牧高等学校常北校、茨城県立波崎柳川高等学校 茨城県立下妻第二高等学校、茨城県立三和高等学校</p>
特別支援学校（１）	<p>茨城県立水戸聾学校</p>

京都府（計 4 5 校）

小学校（4）	京田辺市立薪小学校、木津川市立上狛小学校、井手町立井手小学校、井手町立多賀小学校
中学校（9）	大山崎町立大山崎中学校、木津川市立山城中学校、井手町立泉ヶ丘中学校、京丹波町立和知中学校、京丹波町立瑞穂中学校、綾部市立綾部中学校、舞鶴市立白糸中学校、宮津市立宮津中学校、宮津市立栗田中学校
高等学校（21）	京都府立鴨沂高等学校、京都府立洛北高等学校、京都府立鳥羽高等学校、京都府立北嵯峨高等学校、京都府立北桑田高等学校、京都府立東稜高等学校、京都府立洛水高等学校、京都府立京都すばる高等学校、京都府立乙訓高等学校、京都府立西乙訓高等学校、京都府立城陽高等学校、京都府立西城陽高等学校、京都府立京都八幡高等学校、京都府立久御山高等学校、京都府立田辺高等学校、京都府立南丹高等学校、京都府立須知高等学校、京都府立綾部高等学校、京都府立西舞鶴高等学校、京都府立加悦谷高等学校、京都府立網野高等学校
特別支援学校（11）	京都府立盲学校、京都府立聾学校、京都府立向日が丘支援学校、京都府立宇治支援学校、京都府立城陽支援学校、京都府立八幡支援学校、京都府立南山城支援学校、京都府立丹波支援学校、京都府立中丹支援学校、京都府立舞鶴支援学校、京都府立与謝の海支援学校

京都市（計 1 6 校）

小学校（8）	京都市立朱雀第六小学校、京都市立祥栄小学校、京都市立御室小学校、京都市立西京極西小学校、京都市立松尾小学校、京都市立嵐山東小学校、京都市立竹田小学校、京都市立小栗栖宮山小学校
中学校（5）	京都市立下京中学校、京都市立八条中学校、京都市立修学院中学校、京都市立四条中学校、京都市立桂中学校
高等学校（3）	京都市立西京高等学校（定時制）、京都市立塔南高等学校、京都市立日吉ヶ丘高等学校

福岡県（計 22 校）

小学校（7）	宗像市立赤間西小学校、宮若市立宮田南小学校、久留米市立大城小学校、大牟田市立天領小学校、みやま市立二川小学校、田川市立大浦小学校、みやこ町立黒田小学校
中学校（7）	糸島市立前原東中学校、直方市立直方第二中学校、小郡市立立石中学校、大川市立大川中学校、飯塚市立庄内中学校、みやこ町立犀川中学校、福岡県立嘉穂高等学校附属中学校
高等学校（6）	福岡県立北九州高等学校、福岡県立三潁高等学校、福岡県立早良高等学校、福岡県立三井高等学校、福岡県立直方高等学校、福岡県立新宮高等学校
特別支援学校（2）	福岡県立福岡視覚特別支援学校、福岡県立福岡高等視覚特別支援学校

北九州市（計 20 校）

幼稚園（1）	北九州市立鷹の巣幼稚園
小学校（13）	北九州市立小森江東小学校、北九州市立松ヶ江北小学校 北九州市立西小倉小学校、北九州市立南丘小学校 北九州市立二島小学校、北九州市立花尾小学校、北九州市立青山小学校、北九州市立上津役小学校、北九州市立木屋瀬小学校、 北九州市立広徳小学校、北九州市立長尾小学校、北九州市立星ヶ丘小学校、北九州市立徳力小学校
中学校（6）	北九州市立足立中学校、北九州市立曽根中学校、北九州市立香月中学校、北九州市立八兎中学校、北九州市立石峯中学校、北九州市立菊陵中学校

4. ワークショップ（事後研修会）

（1）地域ワークショップ

各推進校でのオリンピック・パラリンピック教育の実践後、教員間での成果と課題を共有するための報告会が行われた。本学ではコーディネーターの依頼に基づき、主に以下の支援を行った。

（全国中核拠点会議報告、他の地域拠点における特徴的な実践例紹介）

本学の担当教員が登壇し、全国中核拠点会議で検討されているオリンピック・パラリンピック教育の情報や、他の地域拠点における実践例を紹介した。

（推進校間のグループワークへの参加）

学校種・段階別等の小グループに本学の担当教員が参画し、各推進校等における実践の成果と課題を共有するとともに、次年度の事業実施を見据え、各校における今後の具体的な実践アイデアに関する意見交換を行った。また、全体を通した講評を行った。

（シンポジウムのコーディネート、外部講師の調整）

一部の地域ワークショップでは、アスリートや地元の大学講師をパネリストとするシンポジウムが開催された。本学では、その講師登壇に係る調整や当日のコーディネーターを務めた。

次に、各地域拠点における地域ワークショップの要項を掲載する。なお、各要項については、地域拠点のコーディネーターより提供されたものをもとに改編を行った。

①宮城県

日時：平成30年2月15日（木） 13：30～16：30

場所：自治会館205会議室

プログラム：

13：30 開会挨拶

宮城県教育庁参事兼スポーツ健康課長 松本文弘

13：40 パラリンピック教育研修

日本ボッチャ協会強化部長 村上光輝

日本パラリンピックサポートセンター 長野パラリンピック

アイススレッジスピードレース金メダリスト マセソン美季

15：10 （休憩）

15：20 グループワーク

（小学校2班各5校、中学校2班各4校、高校特別支援1班5校）

16：00 グループワーク発表

16：20 講評

筑波大学体育系助教 大林太郎

16：25 諸連絡



宮城県地域ワークショップ

②福島県

日時：平成30年1月24日（水）10：30～16：00

場所：とうほう・みんなの文化センター 1階会議室・視聴覚室

プログラム：

10：30 主催者あいさつ

福島県企画調整部文化スポーツ局スポーツ課指導主事 清水裕之
筑波大学体育系准教授 宮崎明世

10：40 他県事例紹介

筑波大学体育系助教 大林太郎

11：00 グループワークおよび発表、まとめ

11：55 閉会

13：30 主催者あいさつ

福島県企画調整部文化スポーツ局スポーツ課指導主事 清水裕之

13：40 実践報告

北沢又小学校、土湯小学校、吉井田小学校

福島第三中学校、福島市立養護学校

14：30 講評

14：50 パネルディスカッション（視聴覚室）

テーマ「福島県におけるオリンピック・パラリンピック教育の方向性」

コーディネーター：宮崎明世

パネリスト：

千田健太 2012ロンドンオリンピックフェンシング競技フルーレ団体
銀メダル

村上光輝 日本ボッチャ協会強化指導部長 日本代表コーチ

蓮沼哲哉 福島大学人間発達文化学類講師 JOC 専任コーチングディレク
ター（トライアスロン競技）

矢舘実也 福島市立吉井田小学校校長



福島県地域ワークショップ

③茨城県

日時：平成30年2月23日（金） 14：00～17：00

場所：ホテルレイクビュー水戸

プログラム：

14：00 開会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課課長補佐（総括） 戸祭勝典

14：10 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告

筑波大学体育系教授 真田久

14：30 グループ討議

16：00 全体発表（グループ討議の内容を各グループから発表）

16：30 講評、指導

筑波大学体育系教授 真田久

16：50 閉会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当係長 金子英樹



茨城県地域ワークショップ

④京都府

日時：平成30年2月9日（金）13：30～16：30

場所：メルパルク京都 6階会議室C

プログラム：

13：30 開会挨拶

京都府教育庁指導部保健体育課長 村上昌司

13：35 平成29年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告

筑波大学体育系教授 真田久

13：55 グループワーク説明

14：00 （休憩）

14：10 グループワーク

15：20 （休憩）

15：30 グループワークの内容について情報交流（各グループ発表）

16：10 講評

筑波大学体育系教授 真田久

16：20 閉会挨拶

京都府教育庁指導部保健体育課学校体育担当総括指導主事 柏木佳久



京都府地域ワークショップ

⑤京都市

日時：平成30年1月29日（月）15：30～17：00

場所：京都市総合教育センター

プログラム：

1) 開会挨拶

京都市教育委員会体育健康教室体育課長 近藤哲夫

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

2) オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業報告

筑波大学体育系助教 大林太郎

3) 各推進校の実践内容について情報交流

グループワーク説明（コーディネーターより）

グループワーク（小学校2班各4校、中学校1班5校、高校1班3校）

ワークショップ発表（各班より）

4) 講評

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

5) 事務連絡



京都市地域ワークショップ

⑥福岡県

日時：平成30年2月19日（月）14：00～16：30

場所：カンファレンス ASC（アスク）4A 会議室

プログラム：

14：00 開会挨拶

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課

体育・健康教育班総括指導主事 笠井康行

14：10 福岡県におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課指導主事 物部倫明

14：40 全国におけるオリンピック・パラリンピック教育実践事例紹介

筑波大学体育系助教 大林太郎

15：10 （休憩）

15：25 各学校における実践内容のグループ交流

グループ交流内容の報告

16：25 諸連絡



福岡県地域ワークショップ

⑦北九州市

日時：平成30年2月21日（水） 15：00～17：00

場所：AIM3階 315会議室

プログラム：

15：00 開会挨拶

北九州市教育委員会学力・体力推進室学力・体力向上企画担当課長
澤村宏志

15：10 国の動向及び他の地域拠点における実践事例紹介

筑波大学体育系助教 大林太郎

15：30 グループワーク（実践内容報告及び新規実践の構想）

16：10 発表

16：30 講評

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

16：40 質疑・応答及び諸連絡

17：00 閉会挨拶



北九州市地域ワークショップ

(2) 全国ワークショップ

各地域拠点のコーディネーター等を対象とする「全国ワークショップ」を開催し、各地域拠点における事業成果と課題を共有し、次年度以降の効果的なオリンピック・パラリンピック教育の推進に向けた議論を行った。なお、プログラム内容は上記の全国中核拠点会議の議論を踏まえて策定した。

日時：2018年3月5日（月）14:00～17:15

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎内B1 会議室

主催：筑波大学、早稲田大学、日本体育大学

プログラム：

14:00 開会あいさつ

筑波大学体育系准教授 宮崎明世

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課課長 勝又正秀

14:05 各大学担当の地域拠点における事業概要および全国フォーラム報告

筑波大学体育系助教 大林太郎

日本体育大学特別研究員 佐藤 洋

早稲田大学研究員 岡田悠佑

14:50 パラリンピック教育普及啓発事業報告

朝日新聞社メディアビジネス局次長 岩佐正俊

15:05 東京都における事例紹介

東京都教育庁指導部指導企画課指導主事 小宮山詠美

(休憩、移動)

15:30 報告会およびグループ討議 ※()内はオブザーバー

(A) 札幌市 岩手県 宮城県 福島県 千葉県 (北海道 埼玉県)

(B) 札幌市 福島県 茨城県 千葉県 静岡県 (埼玉県 横浜市)

(C) 千葉市 石川県 岐阜県 静岡県 京都市 (山梨県 愛知県)

(D) 京都府 大阪市 兵庫県 長崎県 (埼玉県 山梨県 滋賀県)

(E) 京都府 広島県 福岡県 長崎県 (岡山県 鹿児島県)

【討議のポイント】

・推進校におけるオリンピック・パラリンピック教育

・地域セミナー（事前研修会）、地域ワークショップ（事後報告会）

・関係団体との連携、次年度に向けた課題と展望

16:45 各グループで議論された内容の報告

17:15 閉会あいさつ

日本体育大学 教授 関根正美

全国ワークショップでは、各大学と関係団体から今年度の取り組みの成果と課題の共有が行われた。また、筑波大学と早稲田大学からは、それぞれ平昌冬季オリンピック・パラリンピックの教育プログラムに関する調査報告も行われた。

そして、参加した各地域拠点のコーディネーター等（計33名）を5グループに分け、討議を行った。グループ内で、各地域拠点における実践事例や成果、課題の共有を行い、それぞれの課題について次年度以降の取り組みに向けた検討を行った。代表者による発表では、各推進校で展開されているオリンピック・パラリンピック教育の意義が語られるとともに、事業の開始時期や予算使途に関する共通の課題も提示された。



各大学担当の地域拠点における事業概要および全国フォーラム報告



報告会およびグループ討議

5. 全国フォーラム

(1) 開催概要

2020年東京大会に向けて東北地域から機運を高めていこうという趣旨に基づき、仙台を会場として以下の全国フォーラムを開催した。具体的には、①宮城県のオリンピック・パラリンピック教育推進校による実践報告、②東北ゆかりのアスリートによる講演会、③市民参加によるフェンシングとボッチャの体験会を実施した。

平成29年度スポーツ庁委託事業

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」全国フォーラム
東北から盛り上げよう！みんなのオリンピック・パラリンピック

日時：2018年1月21日（日）13：00～17：00

場所：ホテルメルパルク仙台（宮城県仙台市宮城野区榴岡5-6-51）

主催：筑波大学

一般参加者：52名

プログラム：

13：00 開会あいさつ

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課課長 勝又正秀

宮城県教育庁参事兼スポーツ健康課課長 松本文弘

13：10 宮城県オリンピック・パラリンピック教育推進校実践報告

石巻市立貞山小学校校長 黒澤礼子

石巻市立渡波中学校教諭 岡山ルミ

13：40 オリンピアン、パラリンピアン講演会

北京大会出場、ロンドン大会フェンシング男子フルーレ団体銀メダル

千田健太

車椅子バスケットボールチーム宮城 MAX 所属、アテネパラリンピック以降
4大会連続出場

藤本怜央

15：00 フェンシング・ボッチャ体験会

千田健太

日本ボッチャ協会東北支部 若松伸司

16：50 閉会あいさつ

筑波大学体育系教授 真田久

平成 29 年度 スポーツ庁委託事業
「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」全国フォーラム

みんなの 東北から盛り上げよう! オリンピック・パラリンピック

プログラム

13:00

開会行事

13:10～13:40

宮城県オリンピック・パラリンピック 教育推進校実践報告

- 石巻市立 貞山小学校
- 石巻市立 渡波中学校

13:40～14:40

オリンピック・パラリンピアン 講演会

千田 健太 氏



宮城県気仙沼市出身。2008年北京オリンピックでは11位入賞、2012年ロンドンオリンピックでは男子フルール団体で銀メダルを獲得。全日本選手権も2度にわたり優勝。日本フェンシング協会理事、JOCアスリート委員。

藤本 怜央 氏



宮城MAX所属、日本選手権9連覇。車いすバスケットボール界の中心的存在として、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン、2016年里オデジャネイロと4大会連続でパラリンピック出場。リオ大会では日本代表主将を務めた。

(休憩・配置換え:20分)

15:00～16:50

フェンシング・ボッチャ体験会

スポーツ体験を行いますので、運動しやすい服装でお越し下さい。

16:50～17:00

閉会行事



2018

1/21 日

入場
無料

定員 150名 先着順



場所:ホテルメルパルク仙台
(仙台市宮城野区榴岡5-6-51)

仙台駅より
徒歩10分

お申し込み

- はがき発送先
氏名、性別、年齢、住所、電話番号、車いすの有無の明記をお願いします。
[東北から盛り上げよう! みんなのオリンピック・パラリンピック]事務局
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-26-9 NSビル26 3F

FAX番号

FAX 03-5652-7170

●スマホの方はコチラから▶



問い合わせ先

筑波大学オリンピック・パラリンピック教育推進研究室

TEL 03-3942-5039



フェンシング



ボッチャ

主催: 国立大学法人筑波大学



①宮城県オリンピック・パラリンピック教育推進校実践報告

石巻市立貞山小学校からは、普段の教育活動にいかに関オリンピック、パラリンピックの価値を関連させるかという視点で報告が行われた。また、特徴的な実践として、石巻市に保存されている旧国立競技場の聖火台の花壇作成や、日本財団パラリンピックサポートセンターと連携した障害者スポーツの理解に関する教育活動が紹介された。

石巻市立渡波中学校からは、「自律する渡中生（凜と生きる）」という主題で、これまでに同校で実施されたオリンピック、パラリンピックに関する教育実践が紹介された。東日本大震災直後の校内の様子を紹介後、その後の復興過程と仮設校舎における運動会の様子、そして「石巻復興マラソン」への参加が報告された。



石巻市立渡波中学校の報告

②オリンピック・パラリンピアン講演会

千田健太氏、藤本怜央氏が登壇し、それぞれ競技との出会いからオリンピックやパラリンピックに出場した経緯、そして東日本大震災後のスポーツを通じた復興支援活動などが語られた。そして講演後は、本学の真田教授による進行でトークショーが行われ、スポーツを通じた教育における重要なキーワード「グッドルーザー」という概念について議論が展開された。フロアとの質疑応答を交えつつ、具体例を挙げながら「試合に負けた時にこそ人間的な成長が望まれるのでは」という結論に至った。



オリンピック・パラリンピック講演会の様子

③フェンシング・ボッチャ体験会

参加者は2つのグループに分かれ、前半・後半それぞれ45分間の競技体験を行った。フェンシング体験ゾーンでは千田健太氏が講師となり、基本ステップや武器・防具に関する説明、そして日本フェンシング協会の体験キットを使用した実戦形式の体験も行った。

またボッチャ体験ゾーンでは、日本ボッチャ協会東北支部の若松伸司氏を講師としてお迎えし、競技特性やルール説明、「ランプ」と呼ばれる補助具の使い方を説明いただいた。その後、チームに分かれて対戦形式の競技体験を行った。

参加者アンケートでは、「2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会の興味・関心が増加した」という設問に対し、有効回答数の90.2%の参加者が「非常に思う」あるいは「思う」に回答した。とくに、競技体験会については「障害者スポーツに理解を深めることができた」（50代・介護職）との記述回答もみられた。

一方で、本フォーラムの開催時期および時間帯については改善を求める回答もあり、次年度の開催に向けた課題が浮き彫りとなった。一般市民に対する集客方法の再検討を含め、全国各地でのオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの波及に向けた有効な方策を再考する必要がある。



フェンシング体験会



ボッチャ体験会

(MEMO)

本報告書は、スポーツ庁「スポーツ・フォー・トゥモロー等推進プログラム」による委託事業として、全国中核拠点（筑波大学、早稲田大学、日本体育大学）および各地域拠点が実施した「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」（平成29年度）の成果を取りまとめたものです。

本書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続が必要となります。

平成 29 年度スポーツ庁委託事業

オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 事業報告書

平成 30 年 3 月

発 行：筑波大学オリンピック教育プラットフォーム（CORE）

茨城県つくば市天王台 1 - 1 - 1

筑波大学グローバルスポーツイノベーション棟 204

Tel・Fax：029-853-8749

E-mail：coreadmin@core.taiiku.tsukuba.ac.jp
